会議録(要旨)

会議名	令和4年度当事者会 2月定例会	文責	障がい者福祉室
日時	令和5年2月16日 午後1時30分～3時30分	場所	千里山コミュニティセンター 多目的ルーム
当事者会において取り組む事項について協議			
1. 当事者会として検討したいテーマの協議			
【協議事項】			
意見から出てきた課題等についてカテゴリー別に分類した結果から優先して取り組むテーマを協議・選定			
【意見】			
・当事者会の中で課題と感じる事項について分類分けを行い、どの分類から課題解決に向けた協議を進めていく必要があるのか。			
【決定事項】			
・当事者のネットワークの構築や理解促進・啓発のため、まずは当事者会として協議してきた事項についてまとめる。			
・分類について、出席者の中では、優先順位は難しいものの、ある一定の目途として、①啓発・広報、②ネットワーク、⑩防災について取り組む上でその他に目を向けていけばいいのではないかと。これについて、3月会議までに、委員同士でメールや電話などで意見を出し合う。そのうえで3月の会議で再度検討し決定する。			
2. 司会の輪番制の検討			
【意見】			
・司会が平場から意見を出しにくい点がある。司会進行を1人で抱えていくことが心身共に負担になること、司会と委員との一方的なやり取りとなる点から、輪番制とする必要があるのではとの話となった。会長含めたすべての委員同士でのやりとりが充実されるような会議の在り方であることが大切。			
何らかの形でその意向を汲む必要があるのではないかと思うがどうか。			
・司会の負担は想像できる。司会の在り方(発言の指名やタイムマネジメント等)をシンプルにできるなら輪番は可能と思うが、案件をまとめるのは力量がいるため困難だと感じる。			
【決定事項】			
・司会は会長が引き続き行う。			
・会長も進行だけでなく、平場での意見を言う立ち場としてありたいので、時には司会を別の方が努める機会があってほしい。			
3. 役員体制について			
【協議事項】			
・当事者会の任期は3年間であるが、次年度の役員について交代する必要があるか。			
役員に立候補する人はいないか。また、役員的人数は会長1名、副会長2名でよいか。			
・体調不良等により、出席できないこともあるため、安定した役員体制のためにも、副会長を3名とすることはできないか。			
・自立支援協議会の要領上、役員についての取り決めはないのか。			
【決定事項】			
・会長1名、副会長3名とする。			
・増員する副会長は現役員からの指名とする。			

4. 傍聴について

【協議事項】

・市内に在住の当事者や市外の当事者会から吹田市の当事者会の状況について、話を聞く機会や見学の希望があった場合等を踏まえ、傍聴を認めることとするのはどうか。

【決定事項】

・賛成

・基本的には賛成だが、傍聴者がいると話しにくい方も出てくる可能性を考慮し、傍聴する場合の申込期限や話し合いの内容によっては、傍聴を受け入れないなど、規則を検討する